

県立病院ではたらく仲間をつなく

# 病院組合ニュース

14.6.24 78

愛知県病院事業庁職員組合  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎内  
電話(052)212-8031 FAX(フイ-アケス)0120-930-340  
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

## 第15回中央委員会開催

# 病院職場の環境整備、賃金・権利改善にむけ 職場要求・総合要求の取り組みに結集を



6月18日、水産会館において、病院組合第15回中央委員会を、中央委員24名の出席（定数25名、出席24名、委任状提出1名）で開催しました。  
中央委員会は、3月以降の活動報告と当面の取り組みについて提案し、満場一致で採択されました。

冒頭、吉本委員長 容を真摯に討論している、  
「現在すすめている、職場要求・総合要求アンケートをしつかり取り組んでいくことが、人員要求などにつながる」とのこととなる。11月の定期大会までの活動内

### 質問・意見

太田中央委員

（城山病院分会）

36協定について、今後の取り組みとして「宿日直の見直し」とあるが、どのように見直すのか。また、独立行政法人化についての学習会の内容を教えてほしい。

（本部）今行っている業務が当直業務なのか、通常業務なのか。通常業務を宿日直業務で整理することが問題である。必要な業務ならば増員して、体制を確保

すべきと考えている。

独立行政法人化についての学習会は、すでに独立行政法人となつている、他府県の病院組合に講師を依頼していきたくと考えている。学習会の対象者は全組合員である。

奥田中央委員

（がん中央病院分会）

職場要求について、がんセンター中央病院の看護師の応募状況は良くない。病院は病棟の患者が埋まつていないので看護師は欠員ではないと考えている。看護師を確保する方法はどう考えるのか。

（本部）病棟の入院患者数からすると、7対1看護の看護師数は配置されていることだと思つ。しかし、看護師

## 組合事務所移転しました

事務所移転のため、5月26日（月）から以下の住所・電話番号に変わりました。

〒460-0001  
名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎内（4階）  
電話(052)212-8031  
FAX(フイ-アケス)0120-930-340

お間違いのないようお願いいたします。



の配置は夜勤体制も考える必要がある。

看護師の応募者の確保については、執行委員会でも議論しているが「わからない」というのが実情。時間外勤務が多い、夜勤回数が多い、年休は取得しにくいなどを改善すれば応募者は増えると思うが、こうすれば応募者が増えるとはつきり断言はできない。職場の  
（次ページへ）

**病院レク (A1-A) USJで遊ぶ!**  
**海遊館&ランチハイキング!**  
 (B1-A)

日時・場所：2014年8月23日(土)  
 雨天決行 (大阪市)

募集人員：45名  
 (定員を超えた場合は抽選)

家族は同居に限る。  
 最少催行人員30名

参加費：  
 大人(中学生以上) 6,500円  
 小人(4歳~小学生) 5,500円  
 3歳以下 500円

募集締切：2014年8月7日(木)

申込方法等：  
 申込書に記入の上、FAX又はTELにてお申込みください。  
 申込先 「ハートフル宿予約センター」  
 FAX 052-339-4821  
 TEL 052-339-4822  
 詳細は職場に配布したチラシを参照してください。

(前ページから)  
 若い組合員に意見を聞くなどとして考えていきたい。  
 時短でなく、夜勤が  
 できない職員が多くなると困る。現在は夜勤を月2回程度ならば協力をしてくれる。  
 (本部) がんセンター  
 中央病院で12時間夜勤の二交替勤務を試行した時に伝えたのは、職員がやりたい診療科もある。夜勤ができないことで異動はさせる

な。夜勤体制に必要な看護師数は3-3-8ならば24名であり、7対1看護に必要な看護師数とは異なるので対応ができると思う。  
 山腰中央委員  
 (小児センター分会)  
 女性職員は育短を取っている。小児センターは院内保育所もない。男性が育休を取ることができる職場環境の改善を求めていくのか。  
 (本部) 院内託児所については、現在行つて

いる職場要求アンケートでそのような要求としてまとめれば要求をしていく。  
 安藤中央委員  
 (城山病院分会)  
 先日、医療研究全国集会に参加して二交替勤務の職場が増えていく。12時間の夜勤をやると長日勤ができることで職場は回らなくなってきた。今後情報の収集をしていくことが必要である。



太田中央委員

(城山病院分会)  
 来年度は多くの人員を確保しなければならぬ。もう少し事業庁から情報を提供できる交渉ができないのか。

(本部) 病院事業庁は所属長から出された人員についてはすべてを人事課、財政課に要求をしている。病院事業庁が回答を示すことができないのは財政、人事と話をして最終的には知事の判断がされないという回答ができない状況にあるので、現在のようにならざるを得ない。2月頃まで時間を要することになっている。

愛知医療研究集会に参加して  
**自分の看護感を見つめ直す機会**  
 今回、初めて愛知医療研究集会に参加させていただきました。集会の名前や内容を見たときには、少し敷居が高いのかなあ、という印象がありましたが、実際に参加してみると、そのようなくらいではありませんでした。  
 いろいろな立場の人の様々な意見を聞くことができ、良い経験になったと思います。  
 特に、午後の精神医療分科会では、地域で活躍する  
 “なないろ”のメンバーから直接、活動内容や意見を聞くことができました。  
 病棟で勤務していると、患者の意図を尊重して看護をしていると思っても、いつの間にか、医療スタッフがいかに敷居を高く、それに乗せようとしている。それは患者の成長や可能性を妨げてしまっているのではないかと考えさせられました。  
 自分の看護感を見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。  
 小出博孝(城山病院分会)

足立中央委員  
 (がん中央病院分会)  
 看護師の充足のため予算が付いた。ホームページ、パンフレットなどに活用する。応募者を確保するためにも実習生を受け入れていく。4年生でなく若い年代を受け入れ1年中学生がくる。そのため4月初めから大変になるが私たちが担っていかなければならない。  
 (本部) 病院事業庁が参加している企業展のようなものも、他の病院と比べると暗く、見学者も来ないことで明るい雰囲気に変え、若い現役看護師さんを手伝ってもらい雰囲気を変えたと聞いている。  
 他府県の病院ではあるが、パンフレットも若い現役看護師の声を多くして興味を抱くような内容としている